



2023年12月期 第2四半期

決算説明会資料

2023年8月15日（火）開催

株式会社ビーグリー（Beagle Inc.）

東証プライム：3981

1

2023年12月期 第2四半期決算

2

2023年12月期 通期業績予想

3

会社概要

本資料においては下記略称を使用しております。

Pセグ：プラットフォームセグメント Cセグ：コンテンツセグメント 日本テレビ：日本テレビ放送網株式会社

1

2023年12月期 第2四半期決算

2

2023年12月期 通期業績予想

3

会社概要

2023年12月期2Q エグゼクティブサマリー

売上高

9,427 百万円

(前期比 1.3% 増)

営業利益

733 百万円

(前期比 28.5% 減)

当期純利益

340 百万円

(前期比 18.9% 減)

- 巣ごもり需要が剥落した中で主力サービスが好調に推移し、**前期比1.3%の増収**となった。
- Pセグ、Cセグともに**前期比で減益**となり、連結で**前期比28.5%の減益**となった。
- 営業外費用の減少と特別損失の未発生により、当期純利益は**前期比18.9%の減益**となった。

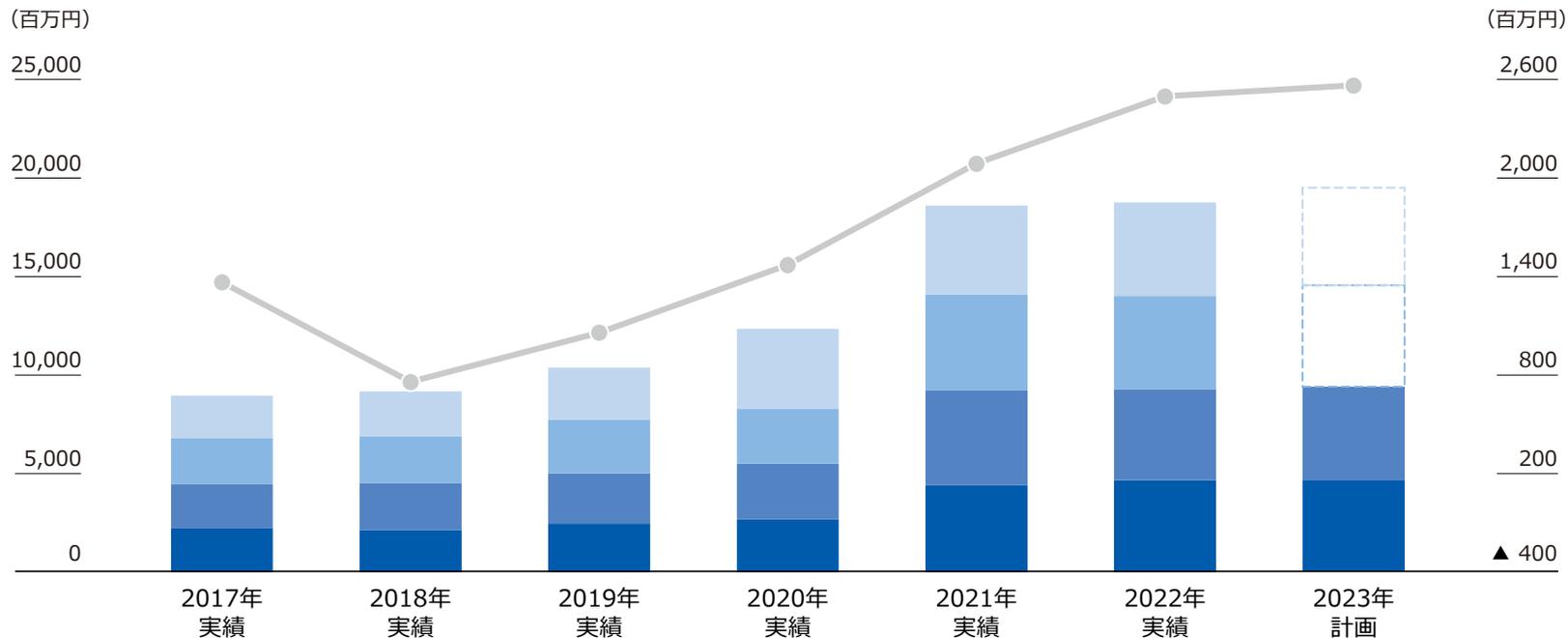
(単位：百万円)

P / L	2022年12月期	2023年12月期	前期比	
	2Q 累計	2Q 累計	増減額	増減率
売上高	9,310	9,427	+117	+1.3%
営業利益	1,025	733	▲292	▲28.5%
のれん等償却前営業利益	1,414	1,107	▲307	▲21.7%
経常利益	960	705	▲254	▲26.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	420	340	▲79	▲18.9%
1株当たり当期純利益 (円)	70.49	56.79	▲13.70	—

注：のれん等償却前営業利益は、のれん及び出版権償却前の営業利益

注：端数処理の都合、合計値は不一致

売上高・のれん等償却前営業利益



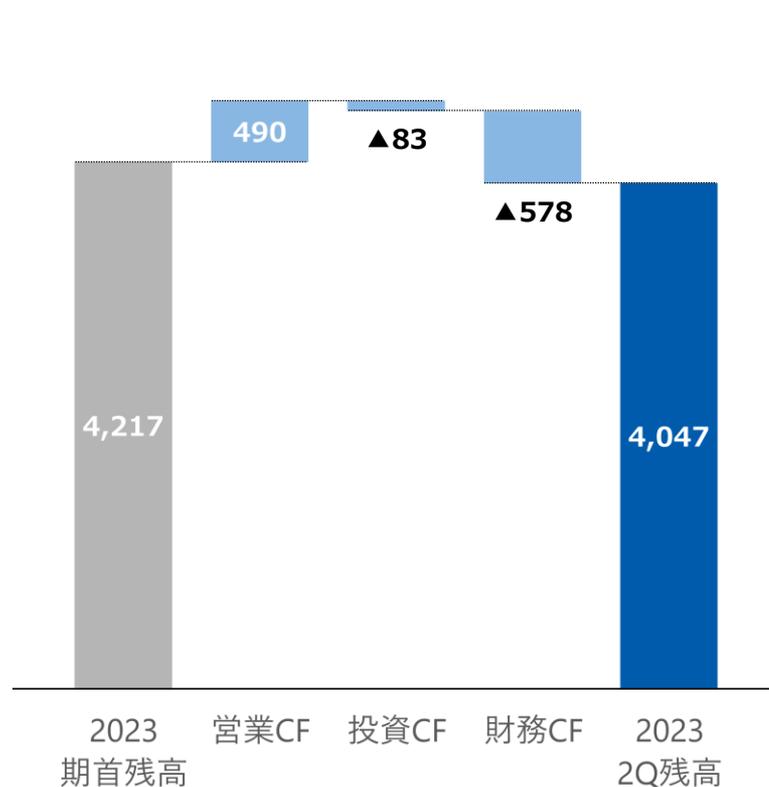
売上高 (■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q) —●— のれん等償却前営業利益

注：「2023年計画」の売上高は2Qまで実績値、のれん等償却前営業利益は計画値

(単位：百万円)

B/S	2022年12月期末		2023年12月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	8,807	46.3%	8,158	45.4%	▲648	
固定資産	10,232	53.7%	9,807	54.6%	▲424	のれん 86.2億円 出版権 5.1億円
資産合計	19,039	100.0%	17,966	100.0%	▲1,073	
負債合計	12,725	66.8%	11,371	63.6%	▲1,353	D/E レシオ 0.96
純資産合計	6,314	33.2%	6,594	36.7%	+280	
負債・純資産合計	19,039	100.0%	17,966	100.0%	▲1,073	
自己資本比率	33.2%		36.7%			

注：端数処理の都合、合計値は不一致

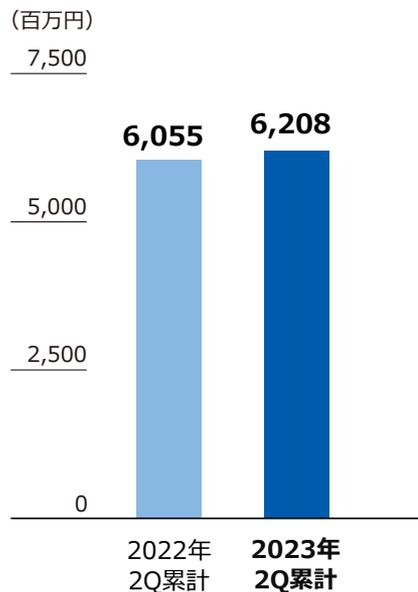


(単位：百万円)

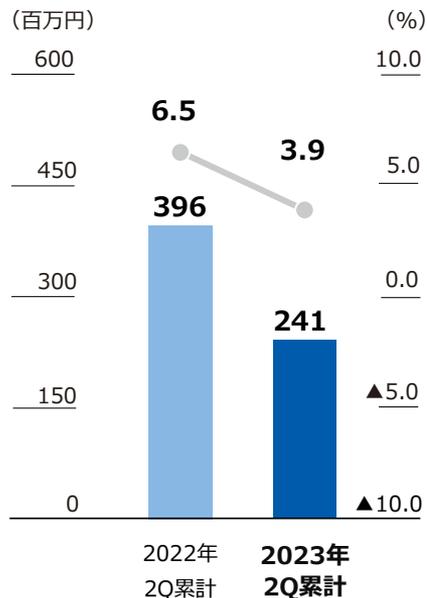
	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	差異
営業CF	1,191	490	▲700
投資CF	▲116	▲83	+33
財務CF	▲1,017	▲578	+439
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,601	4,047	+445

プラットフォームセグメント…コミック配信サービス「まんが王国」の運営、まんが王国オリジナル作品のデジタル出版、その他周辺ビジネス

売上高



営業利益・営業利益率



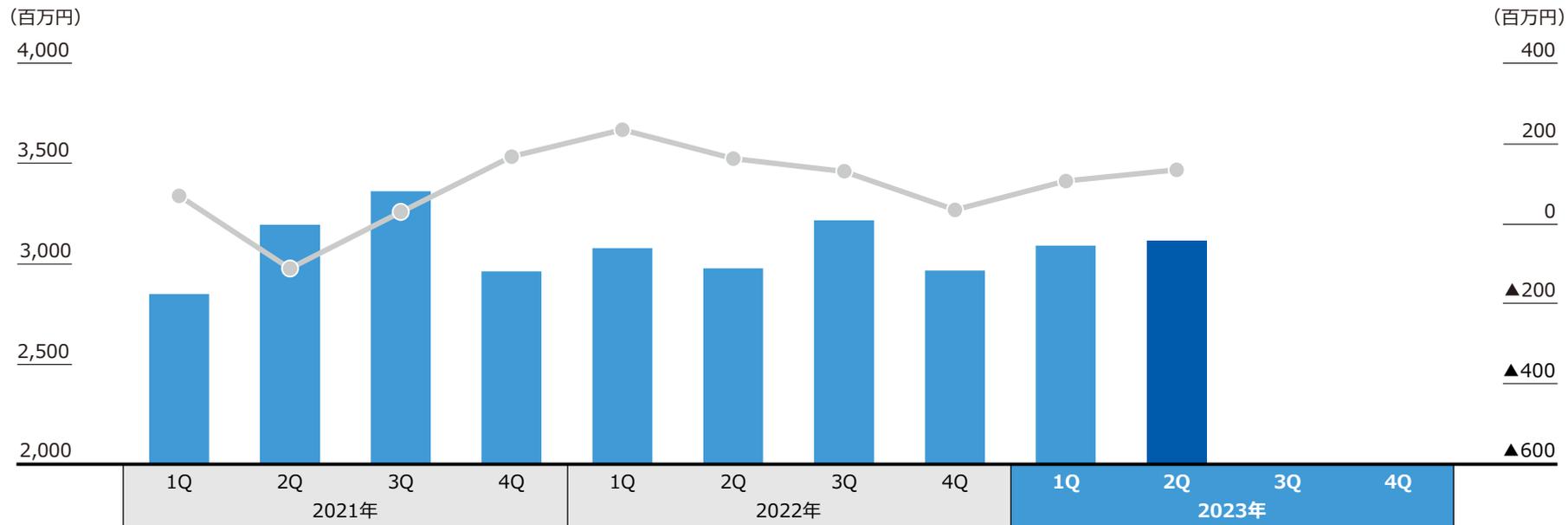
売上高

- 売上高はYonY103%、『まんが王国』の売上高はYonY104%と計画通りの進捗。
- 第2四半期の『まんが王国』売上高はQonQ101%、YonY106%となった。
- 3月より他社プラットフォームでの販売を開始した「宝石の娘と異能の王子」が、外販売上に寄与。

営業利益

- 売上高、粗利益は前期比微増だったが、広告宣伝費の増加により、営業利益はYonY▲154百万円となった。一方で、計画に対しては順調に推移。
- 広告宣伝費は今期において広告出稿を強化したことに加え、前期においては、広告市況を鑑み抑制していたことから、YonY+176百万円となった。

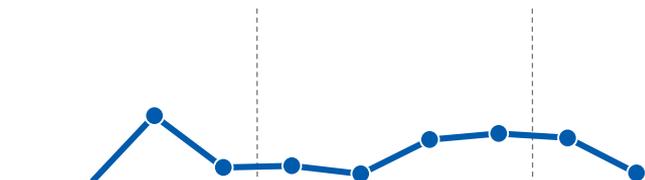
Pセグ 売上高・営業利益



■ 売上高 ● 営業利益

注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

MAU

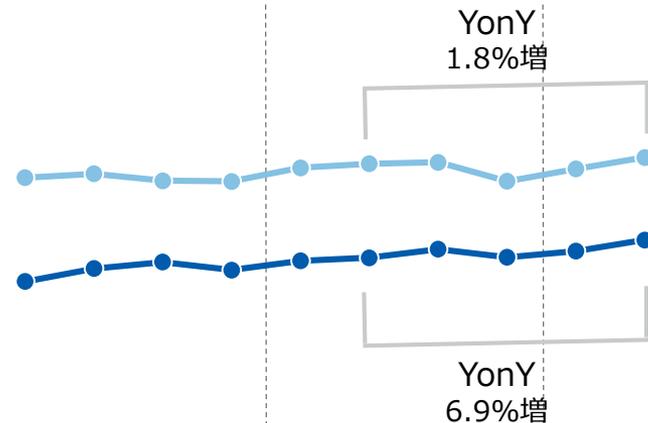


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2021年				2022年				2023年			

● MAU

『まんが王国』を訪れた会員数の推移

ARPPU (課金・消費)



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2021年				2022年				2023年			

● 課金ARPPU ● 消費ARPPU

課金額・消費額を有料会員数で割った金額の推移

1

ロイヤルカスタマーの育成を推進 オリジナルコンテンツの拡充やお得感施策のラインナップを追加



- 『まんが王国』会員数750万人突破
- 2023年6月より一迅社作品の配信を開始
- 2022年総合ランキング1位を獲得した
「宝石の娘と異能の王子」の他プラットフォームでの販売を開始



◀ 宝石の娘と
異能の王子
村上私 (著)
万衣花 (企画)

2

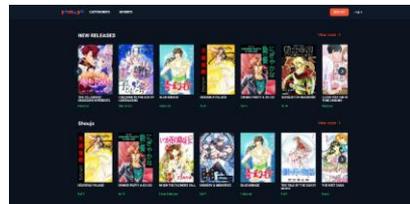
投稿作品を原作としたコミカライズ推進のため、各種施策や小説コンテストを開催



- ぶんか社との共同コンテスト「第2回BKコミックス『令嬢コンテスト』」開催
- アミューズとオリジナルIPの創出を目的とした取り組みの第1弾として、
「現代恋愛×ファンタジー小説コンテスト」を開催
- 投稿作品数UPのためキャンペーンの開催やアプリ機能を拡充

3

北米向けコミック配信サービス『yomoyo (ヨモヨ)』の提供を開始



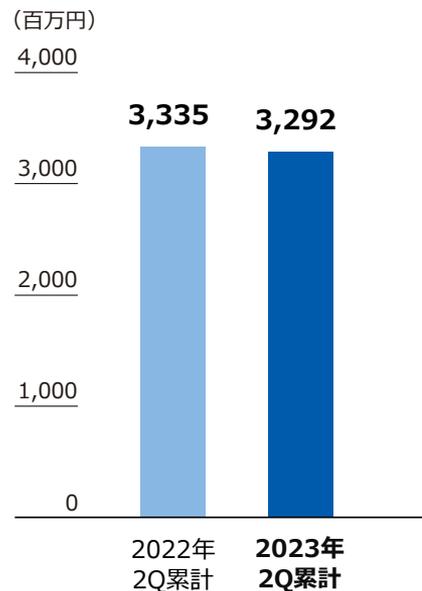
◀ 北米向けコミック配信サービス
『yomoyo (ヨモヨ)』



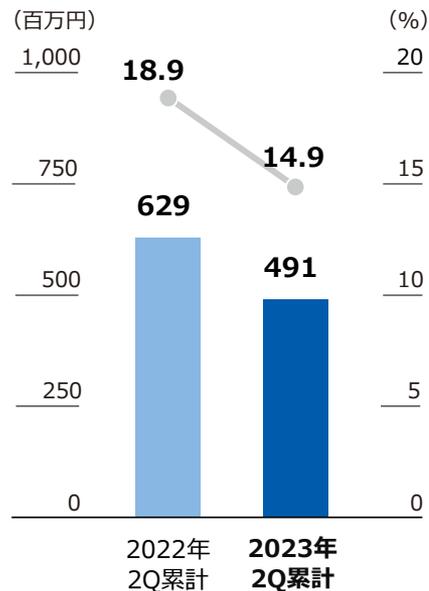
◀ 「I Love You the Second Time Around」
(二周目の恋なのに)
ましろまる (著)

コンテンツセグメント…ぶんか社を中心とする書籍・雑誌の出版、およびそれらのデジタル出版

売上高



営業利益・営業利益率



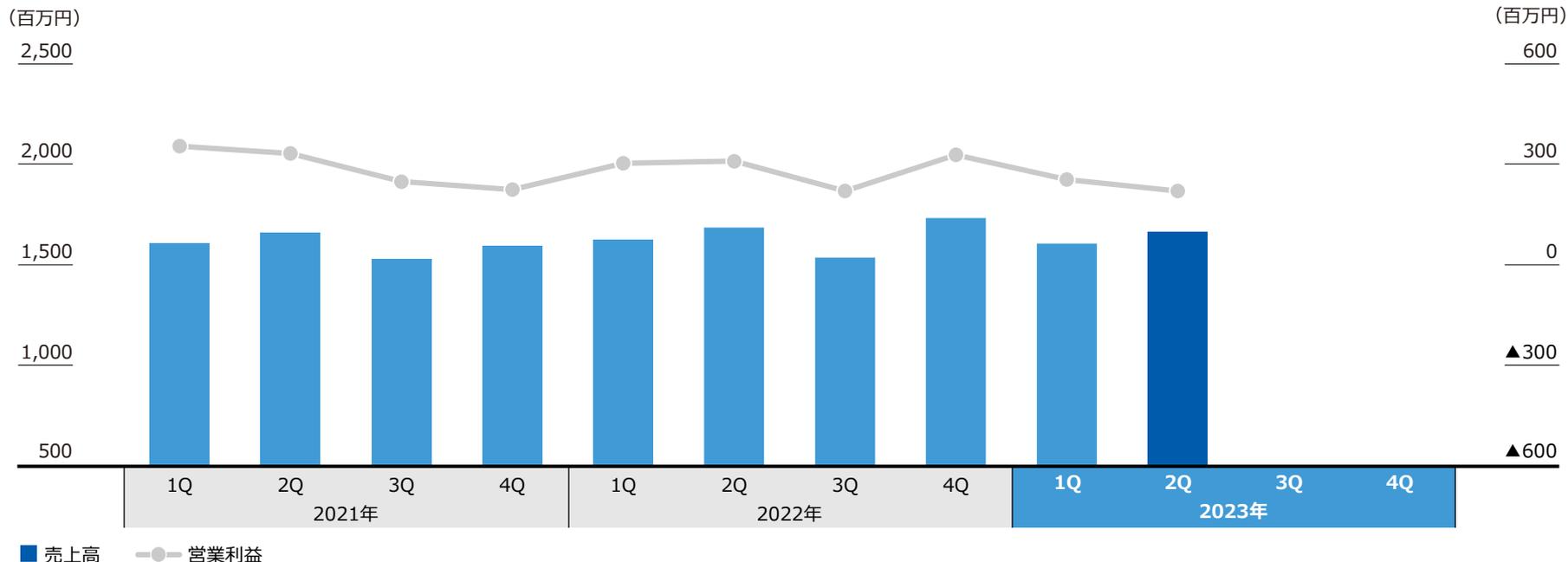
売上高

- デジタル売上高はYonY100%の2,174百万円となったが、前期の売上を牽引した主力タイトルの休載の影響により、計画には届かず。
- 紙出版売上高は、返品率の増加によりYonY96%となった。
- 上記により、セグメント売上高はYonY99%となった。

営業利益

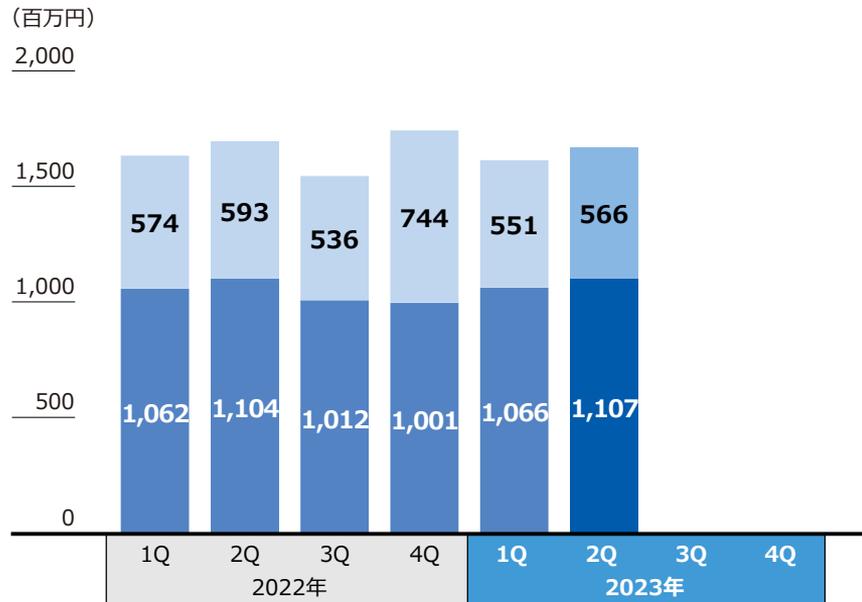
- デジタル粗利益は売上同様に前期並みで着地。
- 紙出版においては返品率の増加による売上高の減少と、売上原価の増加により、粗利益はYonYで大きく減少した。
- 粗利益の減少に加え、採用費・人件費を中心とする販管費の増加により、営業利益は、YonY▲137百万円の着地となった。

Cセグ 売上高・営業利益



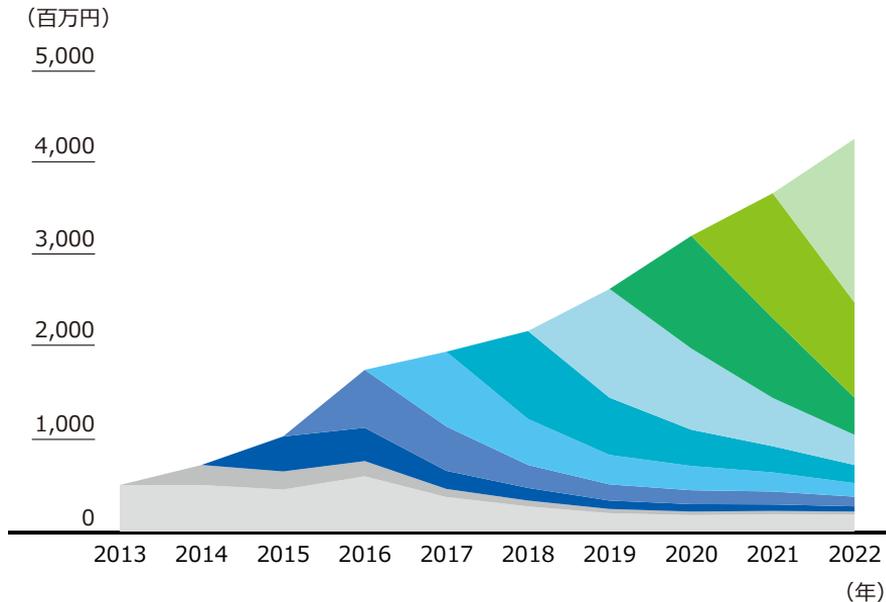
注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

Cセグ 売上高



注：端数処理の都合、合計値は不一致

デジタル売上高と配信開始時期



■ 2013年 ■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年
■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年

注：管理会計数値のため、財務会計数値と不一致

1 ジャンルバリエーション・コンテンツ拡充 女性向け漫画を中心に、ジャンルと親和性の高いデジタル分野で延伸



← 離婚予定の契約婚なのに、
冷酷公爵様に執着されています

紡木すあ（著）
琴子（原作）



← おっさんはうぜええんだよ！ってギルドから追放したくせに、後から復帰要請を出されても遅い。最高の仲間と出会った俺はこっで最強を目指す！

おうすけ（著）
エナミカツミ（イラスト）

漫画編集部門体制の強化

- 新レーベル「PRIMO」「BKコミックス」よりヒット作創出
- 漫画編集部門体制の強化として編集人員 計6名増
- 編集管理職の育成



2 「メディアミックス作品」と「Pセグとのシナジー」の創出



2023年4月よりテレビドラマ放映！

- 「まんが王国」で最新刊の先行配信などPセグとのシナジーを創出



「ノベルバ」×「ぶんか社」でコミカライズを前提とした小説投稿コンテストを開催

3 ファッション誌Gina2023年 spring特別版、JELLY 2023年4月号特別版を発売 4WD 車雑誌が堅調に推移、広告収入堅持



← Gina
2023年
spring 特別版



← JELLY
2023年4月号 特別版



← LET'S GO 4WD
2023年4月号



← 最新 4WD SUV パーツガイド
2024年版

1

2023年12月期 第2四半期決算

2

2023年12月期 通期業績予想

3

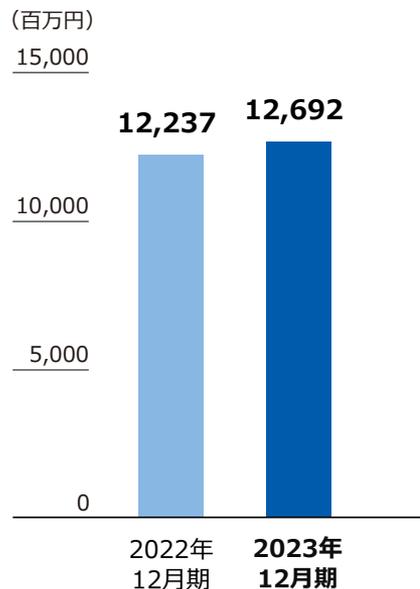
会社概要

2023年2月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

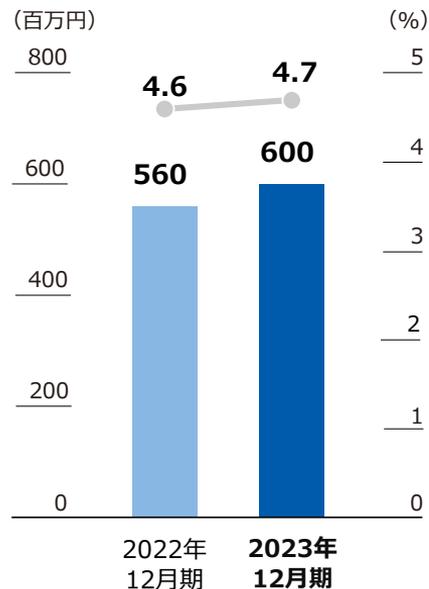
（単位：百万円）

P/L	前期実績	2023年12月期 予想		参考		
	通期	通期	増減額	増減率	上期	下期
売上高	18,713	19,622	+908	+4.9%	9,499	10,122
営業利益	1,755	1,822	+66	+3.8%	850	971
のれん等償却前営業利益	2,534	2,570	+35	+1.4%	1,224	1,345
経常利益	1,608	1,766	+158	+9.8%	822	943
当期純利益	664	900	+235	+35.4%	406	493
1株当たり純利益（円）	111.34	150.80	+39.45	—	68.11	82.69

売上高



営業利益・営業利益率



売上高

電子書籍に注力

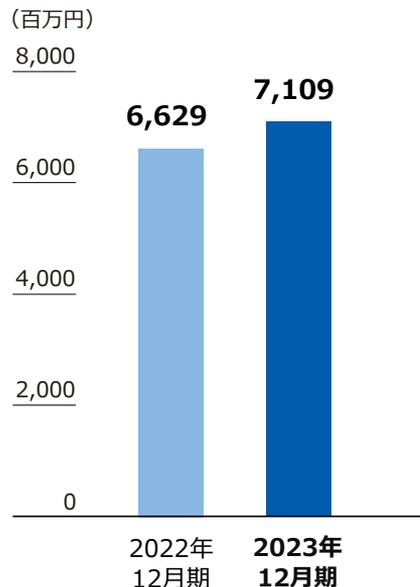
- 『まんが王国』の売上高成長率を105%で計画。
- 下期は、ノベルバ原作含む新規オリジナルタイトルの配信を複数予定。
- 上期に北米向けコミック配信サービス「yomoyo (ヨモヨ) 」の提供を開始。今期はテストマーケティング期間と定め、売上は見込まず。

営業利益

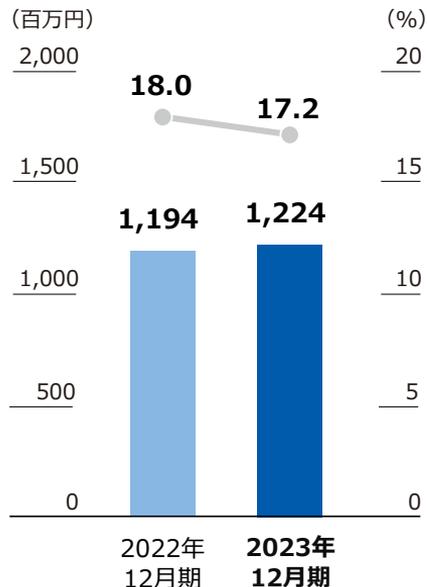
オリジナルコンテンツと海外ビジネスへの積極投資

- オリジナルコンテンツの強化により、粗利率の改善を目指す。
- 効率的な広告宣伝を継続しつつ、積極的に広告を投下。
- エンジニアの増強、ローカライズの推進による費用を一定見込む。

売上高



営業利益・営業利益率



売上高

ジャンルバリエーション・コンテンツの拡大を引き続き推進

- デジタルの売上高成長率を110%で計画。主カタイトルの休載による影響を、TL・少女コミックなどの新たなタイトルでカバー。
- 紙出版においては、雑誌の休刊、月刊誌の隔月化、ポーンデジタル化等により、営業損失の圧縮を優先。

営業利益

紙出版の原価高騰をデジタルの成長が吸収し増益を計画

- デジタル売上高の伸長による粗利益の増加。
- コンテンツ拡充のため編集人員を増強。
- 紙出版においては、営業損失の圧縮を優先に加え、今期末を目途に「選択と集中」による経営効率化に取り組む。

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

1

2023年12月期 第2四半期決算

2

2023年12月期 通期業績予想

3

会社概要

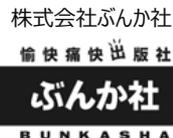


会社名： 株式会社ビーグリー (Beagle Inc.)
所在地： 東京都港区北青山二丁目13番5号 青山サンクレストビル4階
創立： 2004年10月25日
資本金： 18億9,330万円 (2022年12月末時点)
市場： 東証プライム (証券コード：3981)
従業員： 82名 (単体/2022年12月末)
経営陣： 代表取締役 吉田 仁平
取締役 秋田 堅司
社外取締役 佐藤 俊介
社外取締役 久保 真一郎
取締役 (監査等委員) 田中 新
社外取締役 (監査等委員) 吉田 広明
社外取締役 (監査等委員) 大橋 敏彦

社名の由来について

「進化論」のチャールズ・ダーウィンが
世界航海に使用した船の名『Beagle』号に由来

ぶんか社グループ



- 創業：1948年
- 従業員数：149名 (2022年12月末)
- 事業概要：女性向け漫画を紙媒体・電子媒体で出版する総合出版事業

株式会社海王社

海王社

ぶんか社から
編集業務を受託

新アポロ出版株式会社

新アポロ出版

車雑誌等の編集
業務受託及び
広告事業の受託

株式会社文友舎

文友舎

女性向けファッション
雑誌及び車関連雑誌
の出版 (編集) 事業

経営理念

1. 理念

→ 固定観念にとらわれる事なく、新しい発見と進歩を求め続ける

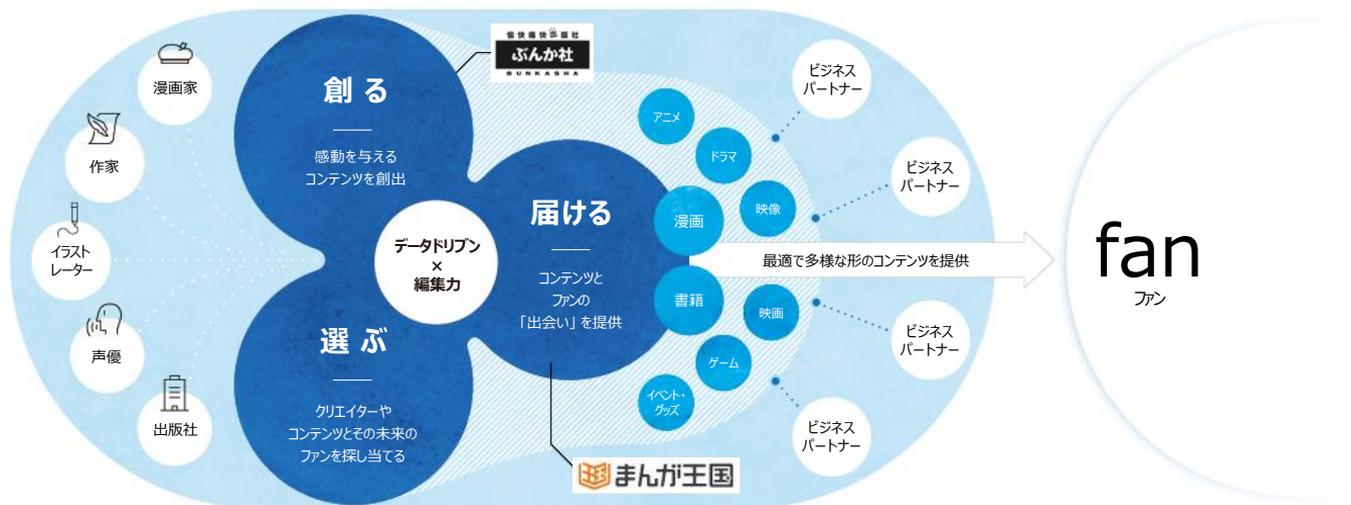
2. Mission

→ クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する

3. Vision

→ グローバルで通用するコンテンツプロデュースカンパニーへ

「創る」「選ぶ」「届ける」をワンストップで提供するコンテンツプロデュース



創る

データ分析と編集力を強みに、
ヒット再現性のあるオリジナルコンテンツを制作

選ぶ

読者のニーズをとらえ、
クリエイターとコンテンツの発掘

届ける

ファンに「驚き」「喜び」の出会いを
数多く提供できる土壌

「創る」「選ぶ」「届ける」をワンストップで提供するコンテンツプロデュース



プラットフォームセグメント

ビーグリーの売上高
9割以上を占める



お徳感 No.1 のコミック配信サービス

novelba

FUNDIY STORE



コンテンツセグメント

出版社 4 社による
総合出版社グループ

愉快痛快出版社

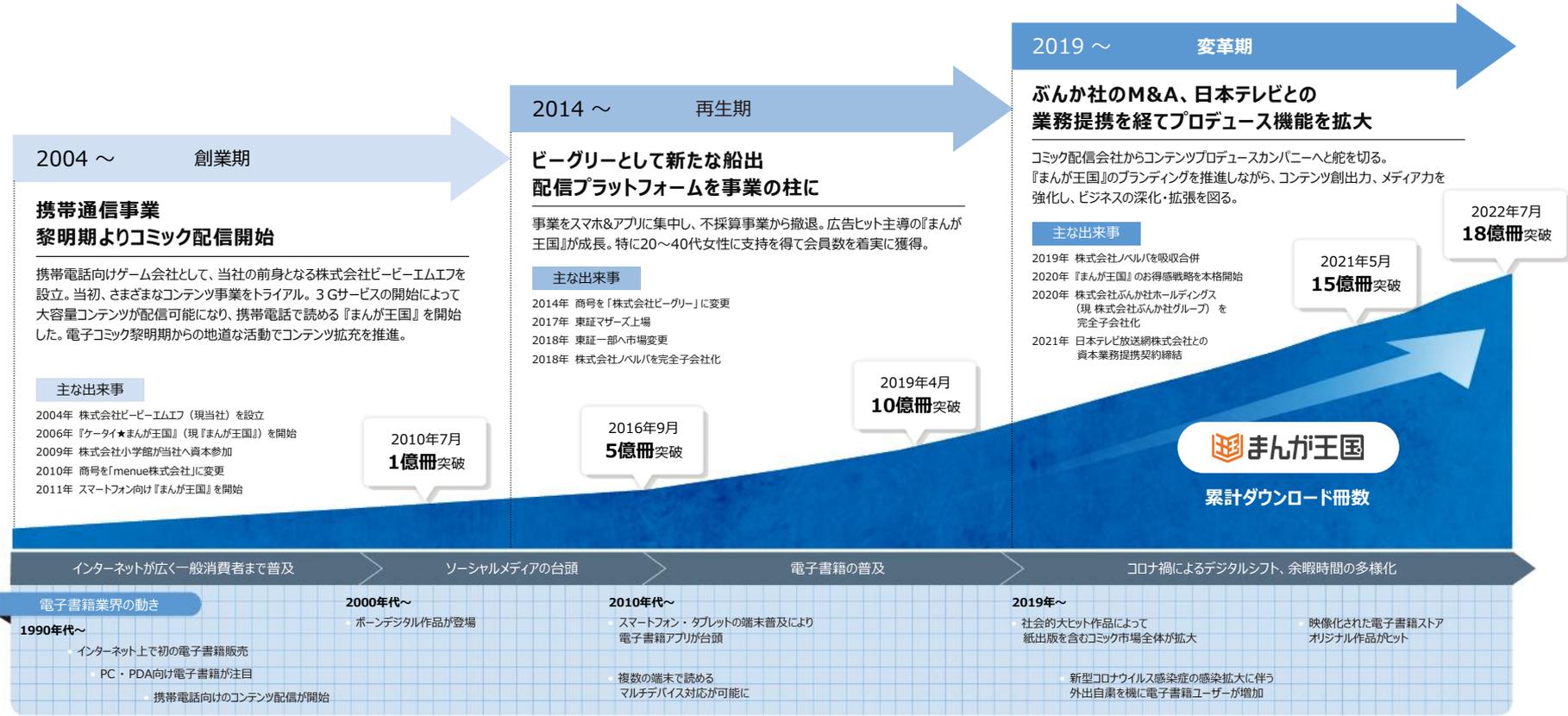
ぶんか社

BUNKASHA

海王社

新アポロ出版

BUNYUSA
文友舎



※PDA (Personal Digital Assistance) : 携帯情報端末

ぶんか社の
あゆみとコンテンツ



ぶんか社は、流行をとらえ、読者ニーズに応えることでコンテンツ創出力を磨き、事業を拡大してきました。漫画ではレディースコミックなどの女性向けジャンルを中心に多くの作品を有し、現在も取り扱いジャンルの開拓を進めています。情報誌では女性ファッション雑誌・自動車雑誌などを出版しています。

ぶんか社の あゆみ

東京都千代田区丸の内
日本文華社として創業

株式会社ぶんか社に社名変更

株式会社日本産業推進機構と
資本業務提携を締結

自社コミックサイト『マンガよも
んが』の運営を開始

ビーグリーが株式会社ぶんか社
ホールディングス(現 ぶんか社グル
ープ)を子会社化

1948

1992

2017

2019

2020

ターニング
ポイント 1

1990年代：女性向けコミック市場の拡大

1990年代に入り、1970年代に少女漫画を楽しんだ読者層の成長やコンビニ市場の拡大を通じて、従来の少年少女漫画とは異なる新ジャンル（レディースコミック、4コマ漫画など）が台頭

ぶんか社の主要漫画雑誌の変遷



▶ 女性向けコミックを業界に先駆けて出版、当該ジャンルでプレゼンス確立

ターニング
ポイント 2

2000年代以降：ぶんか社の電子化への取り組み

フィーチャーフォン時代

- 電子書店、電子取次会社などと協業し、早期より電子書籍業界に進出
- DTP印刷ノウハウ獲得、電子コミック用ファイル作成に転用
- 電子書籍に対応した作家との契約を業界に先駆けて整備

スマートフォン・タブレット端末時代

- コミックの単話配信の拡充、ポーンデジタル作品、サイマル配信などの電子化への施策
- 自社コミックサイト『マンガよもんが』オープン

▶ 時代を先取りした動きで電子書籍事業を拡大

お得感
No.1
を獲得



お客様に寄り添い独創的な提案で、
未永く使っていただけるサービスを提供

会員数 **750 万人超**

単行本換算で累計 **20 億冊**ダウンロード

出版社・作家等のライセンサーとの

契約合計 **2,000 件以上**

常時 **10,000 冊**以上の無料タイトル

注 1 : 「電子コミックサービスに関するアンケート」

調査期間 : 2023年3月22日～ 2023年3月26日

調査対象 : まんが王国または主要電子コミックサービスのうちいずれかをメイン且つ

有料で利用している20歳～ 69歳の男女

サンプル数 : 1,648サンプル 調査方法 : インターネットリサーチ 調査委託先 : 株式会社マークス

注 2 : 各データについては2023年6月時点

注 3 : 累計ダウンロード数は無料タイトル及びコマ形式のタイトルを冊数換算したものを含みます。

まんが王国へ
アクセス



まんが王国公式キャラクター
ホコリアム

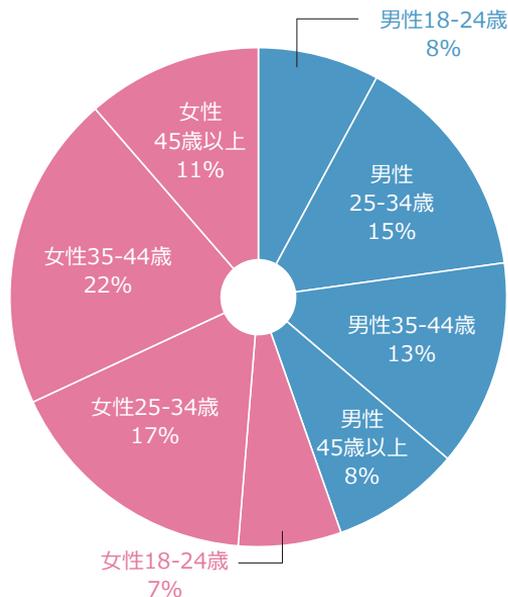
20-40代の女性から支持。

有名タイトルだけではなく、
知る人ぞ知る良作や
オリジナルコンテンツに**出逢い**、
ファンになる方が多い。

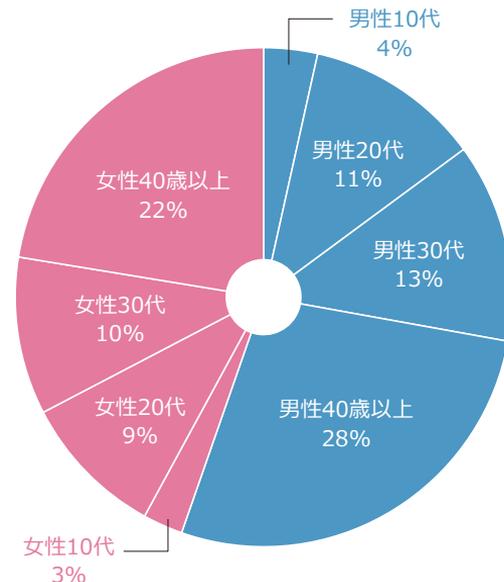
当社のプロモーション・特集等から火が付き、
メディア化される作品も多数。



 まんが王国 会員 ※2023年6月末時点



一般的な有料電子書籍の利用者



出所：「電子書籍ビジネス調査報告書 2023」インプレス総合研究所



「誰もがデジタルデバイスであらゆる小説を読む」
世界の実現をコンセプトに「作者」と「読者」をつなげる
小説投稿サービスを提供

投稿作品数 **20,000 件以上**
独自機能「**ノベルバ報酬プログラム**」を展開
手軽にオーディオブックが作れる
「**ボイスノベル機能**」の導入
出版社との協業による**小説コンテストの開催**

ノベルバへアクセス
<https://novelba.com/>



小説投稿アプリ「ノベルバ」管理人
述々部るる

培ってきたコンテンツの特徴

漫画

- 女性向け漫画ジャンルを得意とし、デジタルとの親和性が高い。
- 余暇時間に手軽に読める読み切りの作品が多く、デジタル作品と相性が良い。
- 連載ものの長編で、読者が思わず次の話も購入してしまうような引きの強いヒット作品も創出し、デジタル売上高に寄与。

レディースコミック



4コマ漫画/ライトノベル

ティーンズ・ラブ (TL) 系



ボーイズ・ラブ (BL) 系



情報誌

- エッジの効いたコンテンツを強みに特定の読者層や広告クライアント（ファッション雑誌・自動車雑誌）を有する。

ファッション雑誌



自動車雑誌



PICK UP

● 新ジャンルへの展開

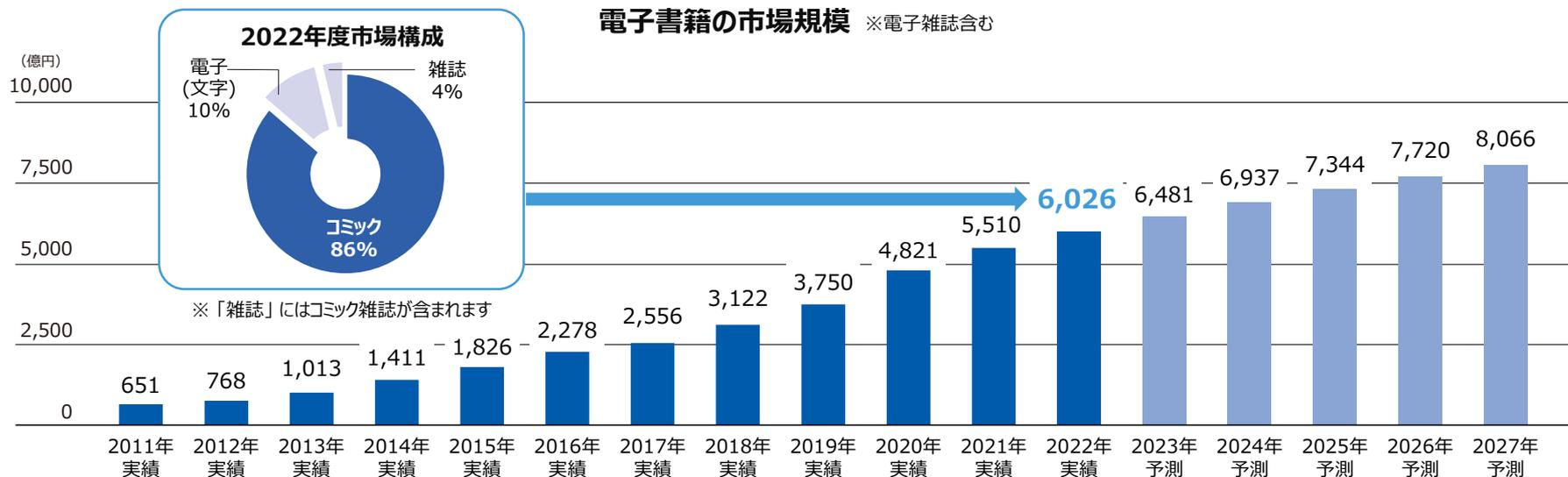
ライトノベルのコミカライズを開始したほか、新たな女性向けデジタルコミック誌として『PRIMO プリモ』や『comic ヤミツキ』を創刊しました。

● ドラマ化を実現

人気作品『義母と娘のブルース』が新春スペシャル版として、さらに、スマートフォン向けコミックサイト『マンガよもんが』のオリジナル作品『部長と社畜の恋はもどかしい』が2022年1月よりテレビドラマ化されました。



2022年度の電子書籍市場規模は6,026億円と推計され、2021年度の5,510億円から516億円（9.4%）の増加となりました。2027年度には8,000億円市場に成長することが予測されております。



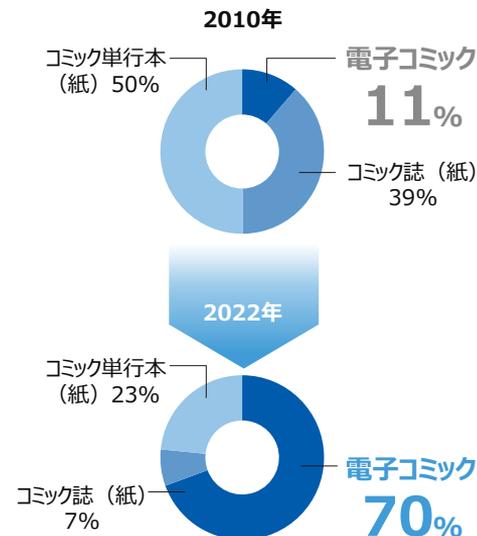
出所：「電子書籍ビジネス調査報告書 2023」インプレス総合研究所

紙媒体のコミックおよび電子コミックの売上が拡大し、コミック市場は拡大を続けており、コミック市場における電子コミックの割合についても増加傾向にあります。

コミック市場の推移 ※電子のコミック誌は含みません



コミック市場構成の変遷



出所：「電子書籍ビジネス調査報告書 2023」インプレス総合研究所／「出版指標 年報 2023年版」出版科学研究所

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com